

令和7年度 数学演習第二 期末統一試験【問題用紙】

2026年1月28日実施・試験時間90分

— 解答用紙には答えのみを整理された形で記入すること —

1 2変数関数 $g(x, y) = x^2 - xy - y^2 + 5$ について考える. $g(x, y) = 0$ で定義される陰関数を $y = \varphi(x)$ として, 以下の設問に答えよ.

(1) $\varphi'(x)$ を x, y の有理式で表せ.

(2) $\varphi(x)$ の極値をすべて求め, 解答欄には「 $x = a$ で極大値 (または極小値) b をとる」という形式で答えを記せ.

(3) $f(x, y) = x + y, F(x, y, \lambda) = f(x, y) - \lambda g(x, y)$ とおくとき, ある実数 λ が存在して $F_x(x, y, \lambda) = 0, F_y(x, y, \lambda) = 0, g(x, y) = 0$ が成り立つような (x, y) をすべて求めよ.

(4) 条件 $g(x, y) = 0$ の下で, 関数 $f(x, y) = x + y$ の極値をすべて求め, 解答欄には「点 (c, d) で極大値 (または極小値) m をとる」という形式で答えを記せ.

2 (5) 連続関数 $f(x, y)$ に対して, 等式

$$\int_0^2 dy \int_{y^2}^{6-y} f(x, y) dx = \int_0^{\text{ア}} dx \int_0^{\text{イ}} f(x, y) dy + \int_{\text{ア}}^6 dx \int_0^{\text{ウ}} f(x, y) dy$$

が成り立つ. このとき, ア から ウ に入るべき適切な数値または数式を答えよ.

3 (6) 2重積分

$$I = \iint_D xy \, dx dy, \quad D: 0 \leq x \leq y, 0 < x + y \leq 1$$

を考える. 変数変換 $x + y = s, y = st$ により, ヤコビアンは $\frac{\partial(x, y)}{\partial(s, t)} = \text{カ}$ で, D は

$$E: 0 < s \leq 1, \quad \text{キ} \leq t \leq \text{ク}$$

に写される. I の値を計算すると, $I = \text{ケ}$ となる.

このとき, カ から ケ に入るべき適切な数値または数式を答えよ.

4 次の重積分の値を計算せよ.

(7) $\iint_D x \, dx dy, \quad D: y \geq 0, x + y \leq 2, 0 \leq x \leq \sqrt{y}.$

(8) $\iint_D y \cos(x + y) \, dx dy, \quad D: x \geq 0, y \geq 0, x + y \leq \frac{\pi}{2}.$

(9) $\iint_D \frac{x + 2y}{\sqrt{4 - (x - y)^2}} \, dx dy, \quad D: 0 \leq x + 2y \leq 2, |x - y| \leq 1.$

(10) $\iiint_D \frac{1}{1 + (x^2 + y^2 + z^2)^{\frac{3}{2}}} \, dx dy dz, \quad D: x^2 + y^2 + z^2 \leq 1.$

5 $\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 4 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \\ -5 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} 10 \\ -1 \\ 1 \end{bmatrix}$ とし, $A = [\mathbf{a}_1 \ \mathbf{a}_2 \ \mathbf{a}_3]$ と定める. また, 線形写像 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$ を $f(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$ によって定義するとき, 以下の設問に答えよ.

(11) f の像 $\text{Im } f$ の次元 $\dim(\text{Im } f)$ を求めよ.

(12) f の核 $\text{Ker } f$ の基底を 1 組求めよ. ただし, 基底をなすベクトルはすべての成分が整数となるように選ぶこと.

(13) $\text{Im } f = N(B)$ をみたく 1×3 行列 B の 簡約行列 を求めよ. ただし, $N(B)$ は行列 B の零空間を表す.

6 $\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} -1 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b}_2 = \begin{bmatrix} -2 \\ 2 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b}_3 = \begin{bmatrix} 2 \\ -4 \\ 0 \end{bmatrix}$ とし, $V = \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2 \rangle$ とする. また, 線形変換 $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$ を

$$f \left(\begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{bmatrix} \right) = (x_1 + x_2)\mathbf{b}_1 + x_2\mathbf{b}_2 + x_3\mathbf{b}_3$$

で定める. さらに, $g(\mathbf{x}) = f(\mathbf{x})$ ($\mathbf{x} \in V$) によって, 線形写像 $g: V \rightarrow \mathbb{R}^3$ を定義するとき, 以下の設問に答えよ.

(14) \mathbb{R}^3 の標準基底に関する f の表現行列を求めよ.

(15) g の像 $\text{Im } g$ の次元 $\dim(\text{Im } g)$ を求めよ.

(16) \mathbb{R}^3 の基底 $\mathcal{A} = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3)$ から \mathbb{R}^3 の標準基底への基底変換行列を求めよ.

(17) 基底 $\mathcal{B} = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2)$, \mathcal{A} に関する g の表現行列を求めよ.

7 3 次正方行列 $M = \begin{bmatrix} 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 0 \end{bmatrix}$ に対して, 以下の設問に答えよ.

(18) 行列 M の固有値をすべて求めよ.

(19) M が定める線形変換 f の 2 次元固有空間が 1 つだけ存在する. その固有空間の 1 組の基底として,

$\left(\left[\begin{bmatrix} \square \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} \square \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix} \right] \right)$ の形のものがとれる. 空所にあてはまる適切な数値を解答欄に記入せよ.

(20) ある正則行列 P が存在して, $P^{-1}M^2P$ は対角行列となる. 対角行列 $D = P^{-1}M^2P$ を 1 つ求めよ.